



新しい価値観に根差した持続可能な社会の実現

令和4年度における活動実績・成果の概要

令和3年度採択 JST共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 地域共創分野 (育成型) での研究活動

令和3年度に引き続き、「COI-NEXT美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点」プロジェクトにおいて、参画機関の皆さんとともに、多くの人にプロジェクトを知っていただくため、各種イベントを実施しました。

①2022/6/25 東松島シンポジウム

- 東松島いどりの丘にて、事業者、行政、学生が集い、それぞれの立場で座談会形式で環境と未来についてディスカッションを実施しました。

②2022/9/10 志摩海賊サミット

- 志摩スペイン村にてシンポジウムを実施。第一部では漁師が中心となり沿岸の状況について情報共有するパネルディスカッションを実施しました。第二部では地元高校生や大学生による、地域のジョブについて話あいました。また第三部では海賊晩餐会と称し、地元で未利用になっている食材を美味しくいただく試食会を開催しました。

③高校生による「ウツボバーガー」の商品化

- 宇治山田商業高校の生徒が、課題研究の一環で、駆除対象の低利用魚であるウツボを使ったハンバーガーを考案。地元のレストランや近鉄駅構内カフェで商品化し販売されました。また新聞メディアにも掲載されました。

④2022/11/3 志摩市合歓の郷でSDGsイベント出展。

- 三重水産高校の授業の一環で、マグロの未利用部位を活用し、「マグロの内臓缶詰を作成し、当イベントで個数限定販売を実施しました。

⑤2022/11/20 東松島でSDGsイベント出展。

- 課題リーダーを担当する教授らによる環境教育講座とカレンダーづくりワークショップを開催しました。



①東松島シンポジウム



②志摩海賊サミット



③高校生考案「海賊バーガー」



④志摩市合歓の郷でSDGsイベント



新しい価値観に根差した持続可能な社会の実現

令和4年度における活動実績・成果の概要

⑥ 沖永良部高校の学生によるプラスチックボトル削減に向けたチャレンジ

- 沖永良部高校商業科生徒11名により、プラスチックスマートチャレンジとして、昨年度より実施しているプラスチックごみの分別に加え、サニーボトルを活用したペットボトルの削減に取り組みました。メンバーである11名の生徒らは、各自のお気に入りのジュースを入れたり、沖永良部島ならではのフルーツを使ったフレーバーウォーターづくりにもチャレンジし、楽しみながらボトル活用を推進しました。

<http://tu-trips.com/tutrips/archives/211>

⑦ 沖永良部高校 課題研究発表会で全校生徒に紹介

- 沖永良部高校では2023年1月20日に全校生徒が出席する課題研究発表会において、本取り組みを報告しました。お気に入りのフレーバーウォーターをランキングで発表するなどし、全校生徒にボトルの楽しみ方を伝えました。

⑧ 本取り組みは奄美新聞でも記事になり紹介されました

- 2023年2月13日付けの奄美新聞において、本取り組みが紹介されました。



<http://tu-trips.com/tutrips/>